

夏の十勝川花火大会(北海道帯広市)



【水辺の楽しみ情報(川の自慢、見どころ 等)】

十勝川は河川延長156kmで国内17位、流域面積は9,010km²で国内6位と日本有数の規模の河川です。十勝は食糧自給率1,100%と農業が盛んな土地であり、その一端を支えているのが十勝川です。帯広市や音更町、幕別町などの市町を流れているため、そのアクセスの良さから、釣りや川狩りといった親水の間としても利用され、地元住民から愛されている河川です。

夏には、地元新聞社が主催する花火大会があり、地元住民はもとより全道、全国各地から、花火を観に人が訪れます(主催者発表で20万人)。

平成26(2014年)年8月13日「第64回勝毎花火大会」概要

1.日時:

平成26(2014)年8月13日(水)19:30-20:45
※荒天の場合は14日(木)に順延

2.場所:

北海道帯広市・十勝川河川敷特設会場
※十勝大橋下流400m付近

3.打ち上げ玉数:

約20,000発

4.主催:

十勝毎日新聞社

5.後援予定

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部、
北海道十勝総合振興局、帯広市、音更町、帯広商工会議所、
十勝町村会、十勝観光連盟、帯広観光コンベンション協会

6.協力:

帯広警察署、帯広市消防署、音更町消防署、帯広市交通安全
推進委員連絡協議会、音更町交通安全指導員会

7.歴史:

十勝毎日新聞社が「北海道で最初の花火大会を帯広で」と
商工業者に協賛を呼び掛け、昭和4年(1929年)8月15日に第
1回花火大会を開催した。その後、戦争により開催が途切れ
ていたが、1956年に再開し、現在に至っている。

水辺のイベント情報

水辺のお店情報

水辺の遊び場情報

水辺の観光情報

水辺の癒しスポット情報

そのほかの水辺情報

【応募理由】

十勝川は、十勝の農業を支える河川として知られていますが、多くのイベントなども開催されています。
十勝帯広周辺は、牧畜や畑作、防風林等の北海道らしい景観を有し、牛乳やジャガイモなどの新鮮な食材から生み出される
美味しい食が味わえ、十勝川温泉で心身ともにリフレッシュできる場所です。多くの方にお越しいただきたい。

【写真の情報(撮影場所、時期、時間 等)】

撮影者:国土交通省 帯広開発建設部 帯広河川事務所
撮影場所:帯広市十勝川河川敷
撮影時期:平成19年8月13日

【応募者】

十勝川中流部市民協働会議
問合せ先:0155-23-2160 FAX:0155-22-291